

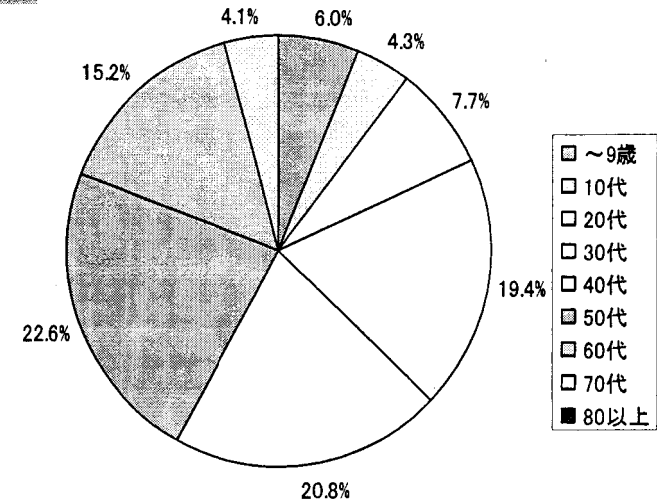


2 ピンクリボンスマイルウォーク（3-②）

仙台大会参加者2,400人のうち、男性は25%。昨年引き続き、3都市の中で男性の参加率が一番高くなっています。年齢層は30代、40代、50代がほぼ同数でした。参加動機は「ピンクリボンに関心あり」が31.6%と最も高く、「友人・人の誘い」、「乳がんに関心あり」が続いています。

乳がん検診に関しては、「定期的に専門機関で受診している」と答えた人が4割以上、「受けたことがある」と答えた人は3割弱で約7割弱の人は検診経験があり、仙台の参加者の検診への積極性が伺える結果となりました。また、昨年ウォーク参加後、「検診を受けに行った」は56.8%で「予定している」は24.3%。あわせて81.1%が検診へのアクションを起こしていました。

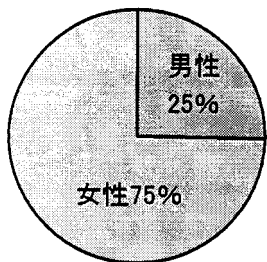
年齢層



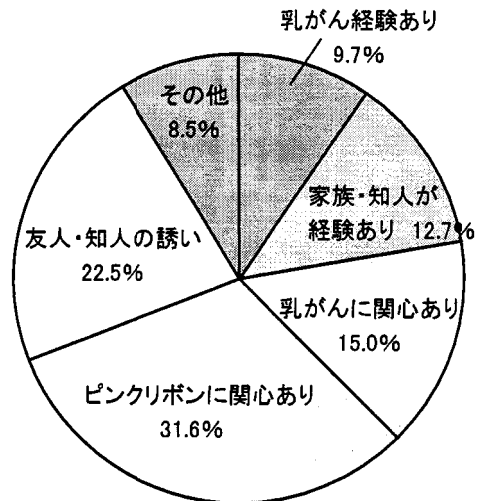
エントリー内訳

| | |
|------|-------|
| 11km | 800 |
| 6km | 1,600 |
| 合計 | 2,400 |

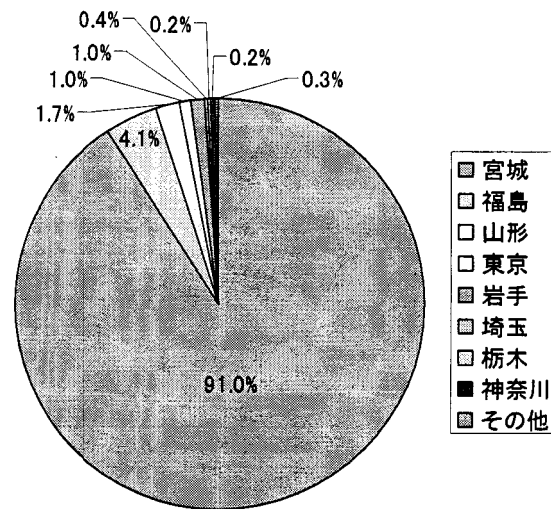
男女別エントリー割合



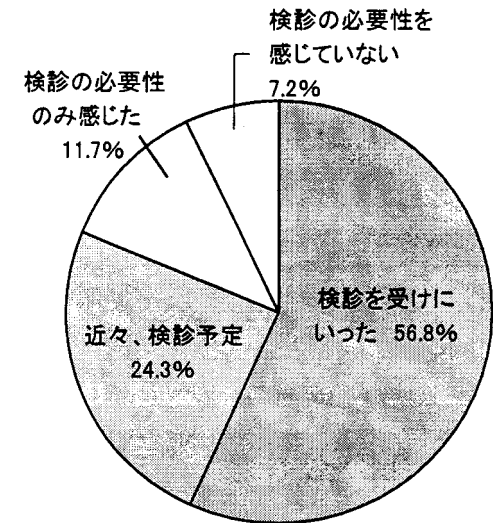
参加動機



居住地



昨年ウォーク後の検診の有無





2 ピンクリボンスマイルウォーク (4-①)

今年4回目となる神戸大会は、天候にも恵まれ、約3,500人が街を歩きました。今年、神戸では「神戸ビエンナーレ2007」が開催中だったため10キロコースには、会場の神戸メリケンパークを巡るコースを新設しました。東京同様、神戸市立看護大学、兵庫医療大学、神戸大学医学部保健学科の3大学の有志がボランティアスタッフとして受付や誘導をサポートしてくれました。会場のブースにも多数の参加者がつめかけ、熱気がありました。また、トークショーやミニライブにも、昨年以上の人が残り、熱心に耳を傾けていました。

3 神戸大会

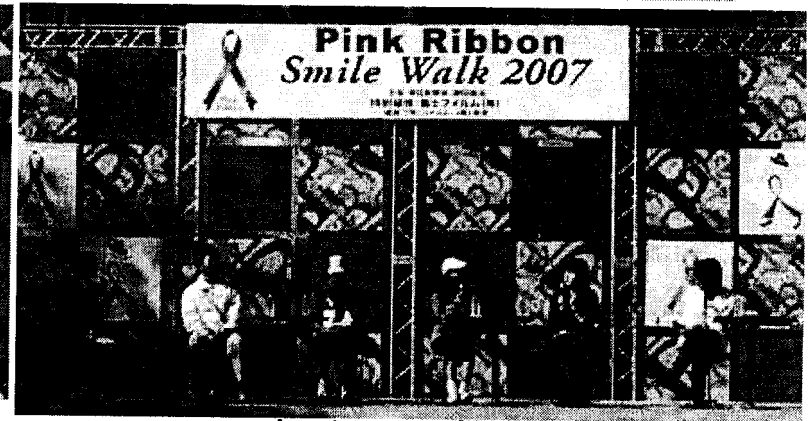
【日時】2007年10月28日(日) 【会場】東遊園地発着 【参加人数】約3500人
 ①10kmコース／10:30スタート ②5kmコース／11:30スタート ※それぞれ受付は1時間前から、出発式は30分前。
 【ゲスト】荻原次晴さん、小谷実可子、大野靖之さん、大原まゆさん、中村ますみさん ▽専門医：田中完児先生(J.POSH理事長・関西医科大学附属枚方病院乳腺外科科長)
 【サブイベント】▽ミニライブ(大野靖之さん)▽トークショー(ゲストと専門医) ▽ミニライブ(中村ますみさん)



↑準備体操をする参加者

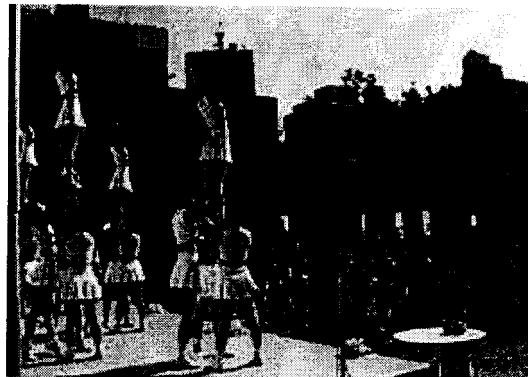
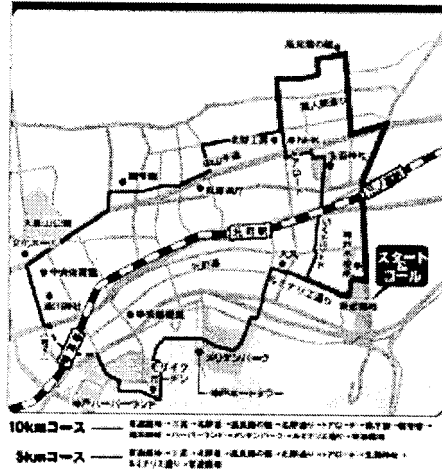


中村さん↑



トークショーの様子↑

コース図



甲南女子大学チアリーディング部の演技



大野さん↑



ゴールする小谷さん↑

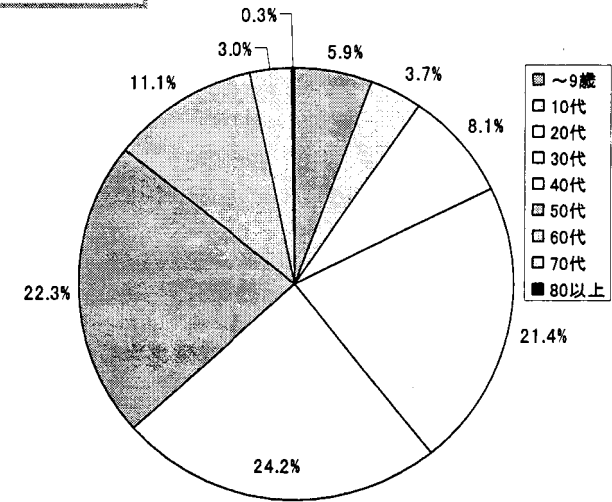


2 ピンクリボンスマイルウォーク（4-②）

女性79%、男性21%で昨年より男性が6%増えています。年齢層は40代が最も多く、50代、30代が続きますが、いずれもほぼ同数。半数以上が初参加となっていました。参加動機は「友人・知人の誘い」が最も多く30.1%、「ピンクリボンに関心あり」、「家族・知人が経験あり」が続きます。

乳がん検診については、「何もしていない」と答えた人が31.6%と、他地域に比べてかなり多くなっています。昨年のウォーク参加後の検診の有無についても、「検診にいった」「予定している」とアクションを起こした人は53.8%で、「必要性のみ感じた」が行動を起こしていない人が32.9%にのぼっています。理由としては、「恥ずかしい・怖い」、「忙しい」が多く、「自覚症状がない」という意見も次いで多く見られました。

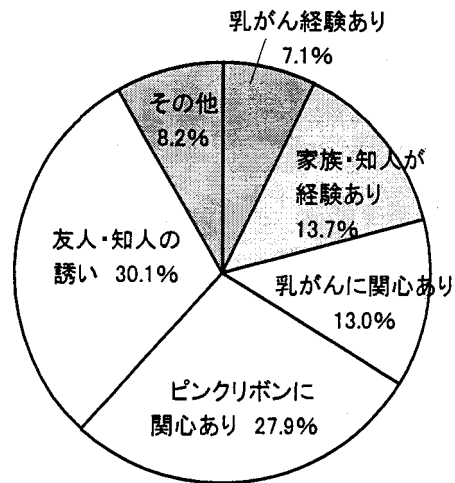
年齢層



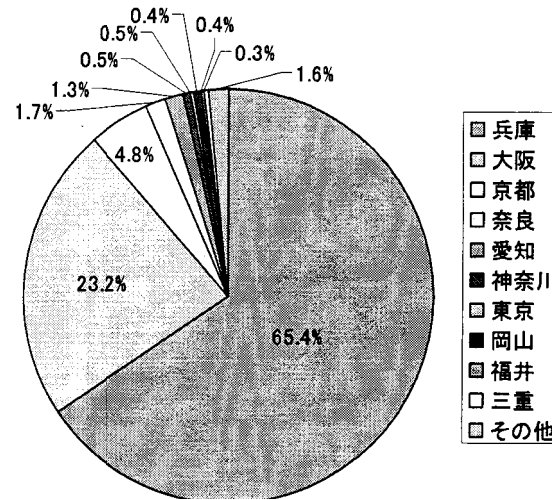
エントリー内訳

| | |
|------|-------|
| 11km | 1,300 |
| 6km | 2,200 |
| 合計 | 3,400 |

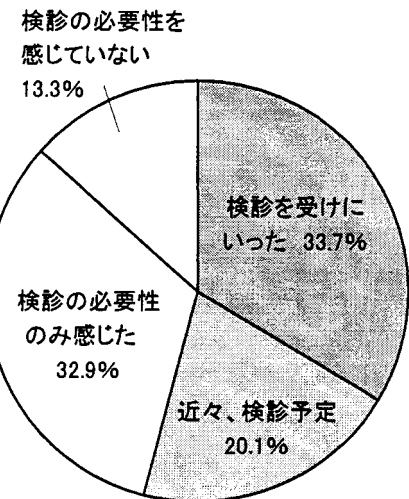
参加動機



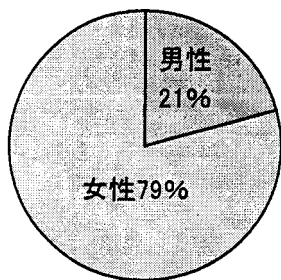
居住区



昨年ウォーク後の検診の有無



男女別エントリー割合





3

シンポジウム(1)

「ピンクリボン あなたの笑顔のために ～乳がんには負けない～」

*詳細は、「ピンクリボンシンポジウム報告書」をご参照ください。

「ピンクリボンフェスティバル」の一環として、東京・神戸・仙台の3都市でシンポジウムを開催しました(今回で東京は6回目、神戸は3回目、仙台は初開催)。乳がんの早期発見・早期診断・早期治療をダイレクトに呼びかける催しでもあり、各会場に多くのお客様にご来場いただきました。アンケートによると、どのプログラムも、ほぼ8割の方々が参考になったと評価していました。(無回答を省くと9割以上)

参加動機は、東京1部(一般対象)と神戸では、「体験がある」(それぞれ47.5%、42.9%)、続いて「乳がんに関心がある」(それぞれ28.6%、25.9%)となりました。東京2部(体験者対象)では、「体験がある」が83.1%にのぼり、次いで「家族・知人に体験者がいる」が11.7%でした。仙台では、「体験がある」(34.1%)と「関心がある」(33.7%)がほぼ同数となっていました。また東京1部、神戸、仙台とも「家族・知人に体験者がいる」が、2割程度となっていました。

参加者からは、「有意義でした」「勉強になりました」「早期発見の大切さがわかりました」「もっとピンクリボン活動を広げていきたい」という声、そして東京第2部では「参考になった」「元気になった」「今後も最新の情報を提供してもらいたい」という声を多数いただきました。

今年からDM発送をしたため、昨年よりベリピーター参加が増え、従来2割程度であった参加経験率が、全体で37.9%となりました。

10月6日(土) 東京・有楽町朝日ホール 第一部 13:00~15:00 第二部 16:00~18:00

【人数】各部 700名無料招待 <第一部・一般対象/第二部・乳がん体験者対象> 両部合わせて約1500人参加
 【出演者】大空真弓さん(女優)、ワット隆子さん(あけぼの会会長)、岩田広治先生(愛知県がんセンター中央病院乳腺科部長
 中村清吾先生(聖路加国際病院プレストセンター長・乳腺外科部長)
 武石優子さん(癌研有明病院乳腺科病棟乳がん看護認定看護師)、※コーディネーター:田辺功(朝日新聞社編集委員)

10月21日(日) 仙台国際センター 13:00~16:00

【人数】500人無料招待
 【出演者】村井国夫さん(俳優)、ワット隆子さん(あけぼの会会長)、大内憲明先生(東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座腫瘍外科学分野教授)、福田護先生(聖マリアンナ医科大学外科学 乳腺・内分泌外科教授・同大学病院乳腺・内分泌外科部長)
 ※コーディネーター:田辺功(朝日新聞社編集委員)

10月27日(土) 神戸ポートピアホール 13:00~16:00

【人数】1000人無料招待(700人参加)
 【出演者】音無美紀子(女優)、ワット隆子さん(あけぼの会会長)、戸井雅和先生(京都大学医学部附属病院乳腺外科教授)
 遠藤登喜子先生(国立病院機構名古屋医療センター放射線科部長) ※コーディネーター:田辺功(朝日新聞社編集委員)